

## 9 学生募集に関する事項

2010（2011入試）年度入試は、18歳人口の減少が一時的ながら緩和したが、長引く経済不況の中、私立大学を取り巻く環境は依然として厳しい状況にある。

「地元志向」「安全志向」がさらに高まる中、本学が“魅力ある大学”として、より多くの方々に認知され、多様な学生の受け入れができるよう、次の方針で学生募集を展開する。

- ① 近畿圏及びその周辺地域である東海、北陸、中・四国地区を学生募集における重点地域として位置づけ、地域の特性を踏まえた募集活動に取り組む。
- ② より多様な学生確保に向けて、推薦入試と一般入試の募集定員比率についての再検討を行う。特に指定校推薦入試については、その枠組みを含め、指定校のあり方を検討する。
- ③ 第5次長期計画における「龍谷大学入試基本戦略2020」を設定し、その同目標を達成すべく募集活動を展開する。

### 1 2012年度入試制度改革の概要

#### ● 高得点科目重視方式の新設

文学部を除く文系学部において、現行の配点セレクト方式を高得点科目重視方式に変更し、入学試験当日の最高得点科目を自動的に2倍換算することとする。なお、文学部、理工学部においては、現行の配点セレクト方式を踏襲する。

#### ● 一般入学試験における併願制度の充実

4年制学部と短期大学部の併願制度を独立させ、4年制文系学部への併願数に加えて、短期大学部2学科との併願を可能とする。また、4年制文系学部においては、他学部との併願の可能性が高い学部を対象とし、同一試験日において、1つの入試方式・型を使い、異なる学部・学科間の併願数を充実させる。

#### ● センター試験利用入試の充実

2011年度新設の政策学部、短期大学部こども教育学科において、センター試験利用入試を新規導入する。また、前期募集における4教科型や後期募集での5教科型など、各学部のアドミッション・ポリシーに基づいた多様な入試方式・型を設定する。

#### ● 特色ある試験制度の導入の検討

各学部のアドミッション・ポリシーに合致した新しい試験制度や試験科目を導入することにより、各学部が求める優秀な学生の確保に繋げるべく、各学部において引き続き検討を行う。

### 2 2012年度募集人員

主な2012年度入学試験は、2教科型公募推薦入試が2日間、一般入試A日程が3日間、B日程が2日間、C日程が1日の予定で実施する。

#### ● センター利用入試の募集人員設定

同一試験区分において、1つの学部・学科・専攻に複数の入試方式・型がある場合は、型毎に募集人員を設定し、同一学部・学科・専攻の併願を可能とする。

### 3 入学志願者募集活動

#### ● 強化地域での広報展開

自宅通学圏内の大学への進学志向がさらに強まってきていることから、これらの地域を学生募集の最重要地域と捉えるとともに、「地元の魅力ある大学」としてさらに認知されるよう、キャリア支援体制、奨学金制度、在学生の様々な取り組みなどを含めたいっそう効果的な広報活動を展開する。

#### ● Webサイトを活用した広報活動

高校生やその保護者などが、本学の入試情報やオープンキャンパス、入試直前対策講座など各種イベントの情報を得やすいように本学入試情報サイトのユーザビリティをパソコンサイト、モバイルサイトともに向上させる。また、定期発信しているブログ、メールマガジンの発信対象・時期を再検討し、学生募集の有効なツールとして活用する。

#### ● 各種イベントの充実

大学が主催するオープンキャンパス、入試直前対策講座等のイベントは、高校生、保護者等の関心が高く、進路指導上においても欠かせないアイテムである。これらの各種イベントへの参加促進を図るとともに、本学の魅力が伝わるよう、内容をさらに充実させる。

#### ● 東京オフィス・大阪梅田キャンパスの積極的活用

関東地区、大阪地区における入試広報活動の拠点として、両オフィスと連携しながら各種イベント開催など学生募集活動を展開する。



## 2012(平成24)年度入試募集人員一覧(予定)

(単位:人)

学部/学科/専攻	入学定員	一般入試		推薦入試		特別入試		募集人員合計		
		一般入学試験	センター試験利用	公募	その他	留学生・帰国生徒	社会人			
文学部	真宗学科	135	58	10	12	55	若干名	若干名	135	
	仏教学科	110	47	8	15	40	若干名	若干名	110	
	哲学科	哲学専攻	69	36	8	9	16	若干名	若干名	69
		教育学専攻	69	33	8	9	19	若干名	若干名	69
	臨床心理学科 <sup>※1</sup>	92	48	10	11	23	若干名	若干名	92	
	歴史学科 <sup>※2</sup>	日本史学専攻 <sup>※2</sup>	69	33	7	9	20	若干名	若干名	69
		東洋史学専攻	69	33	7	9	20	若干名	若干名	69
		仏教史学専攻	69	33	7	10	19	若干名	若干名	69
	日本語日本文学科	94	48	10	11	25	若干名	若干名	94	
	英語英米文学科	94	48	10	11	25	若干名	若干名	94	
文学部小計	870	417	85	106	262	若干名	若干名	870		
経済学部	現代経済学科・国際経済学科(一括募集)	550	220	55	95	180	若干名	—	550	
経営学部	経営学科	470	210	35	64	161	若干名	—	470	
法学部	法律学科	400	196	41	60	103	若干名	—	400	
政策学部	政策学科	250	120	15	35	80	若干名	—	250	
理工学部	数理情報学科	90	34	11	16	29	若干名	—	90	
	電子情報学科	90	34	11	16	29	若干名	—	90	
	機械システム工学科	100	38	12	18	32	若干名	—	100	
	物質化学科	90	34	11	16	29	若干名	—	90	
	情報メディア学科	90	34	11	16	29	若干名	—	90	
	環境ソリューション工学科	90	34	11	16	29	若干名	—	90	
理工学部小計	550	208	67	98	177	若干名	—	550		
社会学部	社会学科	190	73	23	43	51	若干名	—	190	
	コミュニティマネジメント学科	115	44	14	23	34	若干名	—	115	
	地域福祉学科	145	55	18	31	41	若干名	—	145	
	臨床福祉学科	140	52	18	31	39	若干名	—	140	
社会学部小計	590	224	73	128	165	若干名	—	590		
国際文化学部	国際文化学科	450	190	31	87	112	30	若干名	450	
大学合計		4,130	1,785	402	673	1,240	30	若干名	4,130	
短期大学部	社会福祉学科	130	30	13	55	32	若干名	若干名	130	
	こども教育学科	90	8	5	23	54	若干名	若干名	90	
総合計		4,350	1,823	420	751	1,326	30	若干名	4,350	

※1 2012年4月開設予定(2011年4月設置届出予定)

※2 2012年4月名称変更予定(2011年4月届出予定)